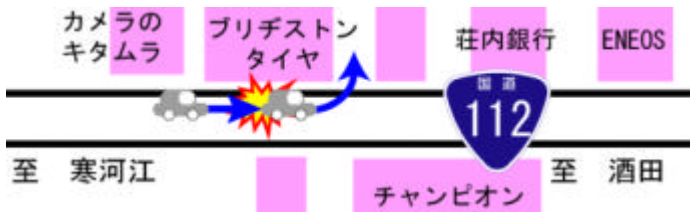


一般国道112号 鶴岡市草見鶴（単路部）

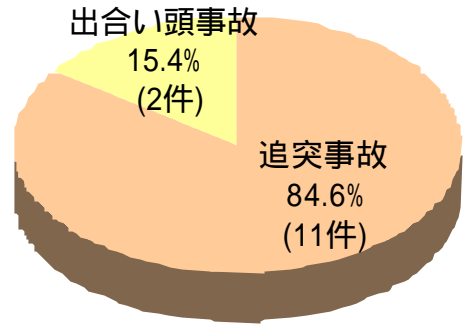
対策時期：H17.8
事務所名：酒田河川国道事務所

沿道出入りに関連する車輛との追突事故等多発

- ・当該区間では、沿道施設への出入り時などの追突事故等多発。



対策前に多く発生している事故の状況



H11～15年の発生事故の割合

デンジャーゾーン舗装の実施

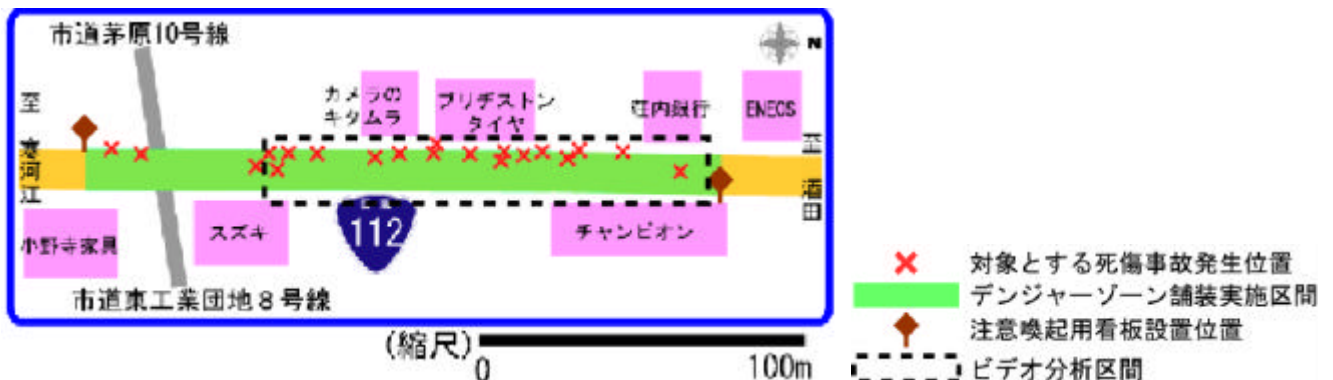
- ・事故多発区間であることをカラー舗装化と注意喚起用看板により道路利用者に注意喚起し、事故防止を図る。



対策前の状況（寒河江 酒田方面）



対策後の状況（寒河江 酒田方面）



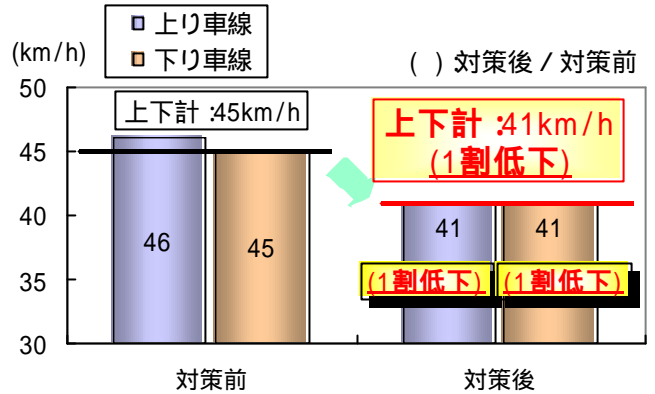
設置前の事故発生位置と対策実施位置図

国道走行車輛の平均走行速度が約1割低下

- ・デンジャーゾーン舗装の実施により、国道を走行する車輛の平均走行速度は、**上下計で対策前の45km/hから対策後は41km/hと約1割低下**。
- ・上り下り別では、上り車線では**対策前の46km/hから対策後は41km/hに**、下り車線では**対策前の45km/hから対策後は41km/hに**、**いずれも約1割低下**。

国道走行車輛の平均走行速度の変化

調査日：対策前；H17/7/2,7/15 対策後；H17/8/5,8/6

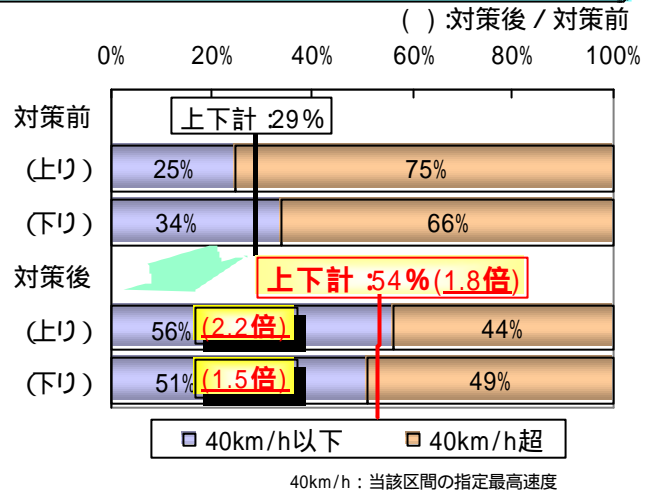


指定最高速度遵守車輛の割合が約1.8倍に増加

- ・デンジャーゾーン舗装の実施により、当該区間の指定最高速度(40km/h)を遵守する車輛の割合は、**上下計で対策前の29%から対策後は54%と約1.8倍に増加**。
- ・上り下り別では、上り車線では**対策前の25%から対策後は56%と約2.2倍に増加**、下り車線では**対策前の34%から対策後は51%と1.5倍に増加**。

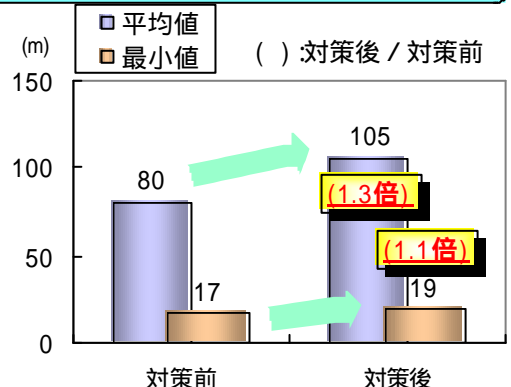
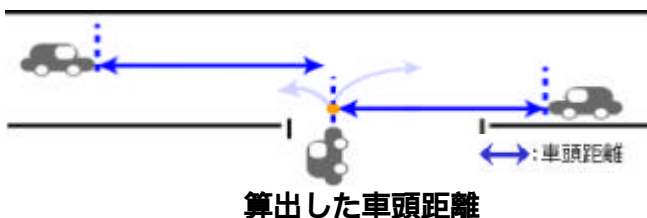
国道走行車輛の指定最高速度遵守超過割合の変化

調査日：対策前；H17/7/2,7/15 対策後；H17/8/5,8/6



沿道出入り時の国道走行車輛との最小車頭距離が約1.1倍に微増

- ・デンジャーゾーン舗装の実施により、沿道出入り車輛と国道走行車輛との平均車頭距離は、**対策前の80mから対策後は105mと約1.3倍に増加**。
- ・また、車輛間の最小車頭距離は、**対策前の17mから対策後は19mと約1.1倍に増加**。



沿道出入り車輛と国道走行車輛との車頭距離の変化

調査日：対策前；H17/7/2,7/15 対策後；H17/8/5,8/6